



・・・アルプスの峰々もいよいよ雪化粧をはじめました。  
 寒い冬を迎える準備は皆様お整いでしょか・・・。



## 「平成27年度小渋川流域を対象とした合同防災訓練」が実施されました。

近年、全国で地震・豪雨に伴う大規模な土砂災害が頻発しており、これまで以上に国や地方自治体が連携して、迅速で適確な災害対応を行うことが求められています。  
 このため、関係機関における防災担当者の災害対応能力の向上、各機関の連携強化を目的に、11月24日(火)大鹿村交流センターにて、天竜川水系の小渋川流域で豪雨による大規模土砂災害の発生を想定した合同防災訓練が、計12機関より54名が参加し実施されました。



番号	地名	災害種別	災害内容
①	女高	土石流	土石流により国道152号線上へ土砂が流出
②	大塩	土石流	土石流により、国道152号線の橋が2箇所被災。宿泊施設を含む5戸が孤立。
③	小塩	土石流	
④	大栗	がけ崩れ	がけ崩れにより道路上に土砂が堆積。民家の車庫が被災。
⑤	西	がけ崩れ	がけ崩れにより土砂が道路上に堆積。
⑥	塩川	天然ダム	大規模崩壊が発生し、高さ60mの天然ダムが形成。
⑦	下青木	土石流	土石流により国道152号線上に土砂が流出。農作業用の倉庫が被災。
⑧	上蔵	天然ダム	大規模崩壊が発生し高さ40mの天然ダムが形成。作業員1人が行方不明。
⑨	上青木	がけ崩れ	がけ崩れにより村道上に土砂が堆積。



信州大学・平松教授、中部地方整備局・井口河川情報管理官の解説に基づく指導により、各対応を確認し、訓練が進行しました。

大鹿村議会の方々を含む26名の見学者が見守る中、実際に起こり得るであろう綿密な災害想定に対し、この広い大鹿村住民の方々への安全確保を第一に考えた行動が要求される高度な訓練が展開され、改めて訓練の必要性を実感しました。



次々に起こる災害に対し、様々な機関が連携しないと機能しないため、各機関の担当者は迅速適確な対応が求められます。

- ステージ0: 事前対応行動～初動対応ステージ**  
 状況: 台風の影響に伴って雨が降り始め、大雨注意報・大雨警報・土砂災害警戒情報などが順次発表されていく。土砂災害警戒情報の発表後に、土石流やがけ崩れが発生。雨の降り終わり前後に、災害発生情報が関係機関に通報される。  
 内容: 発表される気象情報に応じて、適切な機関内の対応が取れるかどうか、また必要な警戒避難対策が取られるかどうかを確認する。併せて、災害発生後の情報伝達および初動対応が適切に取られるかどうかを確認する。
- ステージ1: 孤立集落対応ステージ**  
 状況: 豪雨によって発生した多数の土砂災害の全容が明らかになり、また発生した土石流やがけ崩れに対して、現地の状況が確認され、災害の規模等が明らかになる。  
 内容: 土石流やがけ崩れが大鹿村全域で発生する中で、大塩・小塩集落が孤立化することとなり、この孤立化集落に対する対応を確認する。併せて、孤立集落での急病人(あるいは怪我人)が発生した場合において、複数の機関が必要な連携を図りながら適切な対応がなされるかを確認する。
- ステージ2: 河道閉塞(天然ダム)の決壊対応ステージ**  
 状況: 雨の降り終わり後に、小渋川上蔵砂防えん堤周辺左岸で深層崩壊が発生(河道閉塞の形成)し、右岸の採石工場で行方不明者(車両の埋没)が発生する。この河道閉塞は、形成から1～2日程度で決壊することとなる。  
 内容: 埋没した通行車両(人的被害)に対する対応や、河道閉塞決壊に伴う水質事故に対する対応など、多岐にわたる災害・事故に対して適切な行動がとれるかを確認する。
- ステージ3: 河道閉塞(天然ダム)の緊急調査対応ステージ**  
 状況: 雨の降り終わり後に、塩川上流域左岸で深層崩壊が発生(河道閉塞の形成)する。満水までの猶予時間は1週間程度(以上)あるものの、下流の保全対象に対して決壊時の影響が懸念されることとなる。  
 内容: 河道閉塞に対して、国が実施すべき緊急調査および土砂災害緊急情報の発表や、複数機関による連携対応行動が適切にされるかを確認する。

「裏面もご覧ください」

# 伊那中学校の生徒さんが職場体験に訪れました。

11月10日・11日の2日間、伊那市立伊那中学校1年生の生徒さんが、職場体験学習の一環として、天竜川上流河川事務所管内の各出張所、現場に訪れました。11日には小浜川砂防出張所にて砂防の役割・メカニズムを勉強し、工事現場での実務体験を行いました。  
 「生きる力」を養うため「働く」ことの大変さを知るとともに、自立を求められる将来の進路へ役立っていただければ良いなと思います。

このダムは、スリット型鋼製堰堤って言うんだよ

これで石や土を止めるんだあ砂防ってすごい！

魚が通る道もあるんだあ砂防ってすごい！

\*\* ノギス \*\*  
物の外径・内径などを計る測定器具  
写真は100分の1mmまで測定可能で結果を明確な数値で表示する

まずは出張所で砂防の勉強

工事の説明を受け、これから使う鉄筋の材料検査をしました。

デジタル機器に興味津々

大鹿村では昔大きな災害があったんだね

砂防のための大切な材料！

すごい！

砂防は人と自然の両方を考えていて、砂防がないとどんな事になるかわかりました。

大西公園内には崩壊礫保存園があり、昭和36年6月29日に梅雨の集中豪雨で大規模に崩れ落ちた岩塊を、当時の堆積状況のまま保存しています。



↑もっと知りたい方は大鹿村中央構造線博物館へ

現場の帰りに大西山大崩壊のお話を聞きました。

## 大鹿中学校ロードレース大会

毎年行われる大鹿中学校ロードレース大会が、11月4日に開催され、当小浜川支部も安全なレースができるよう塩川仮橋の現場内において、過去から続くコースの整備を行い、大会をサポートしました。

## 現場から見る・・・【古きを訪ねて】【榑村沢堰堤名板】

この度完成間近となる、平成26年度天竜川水系榑村沢砂防堰堤補強工事現場において、既存堰堤の天端に昭和31年完成当時の名板が設置されています。今回の工事でその存在を間近に確認する事ができ、当時ご苦労された方々の熱い思いが伝わってきました。その後の強い水の力に耐え切れなくなった砂防堰堤が、間もなく生まれ変わります。でもこの名板は、人の行けない場所にあるため、直接見る事はできなくなってしまいます。

「榑村沢堰堤」と石に彫られています。右側の「堰」と記されており、「匠」の中の「晏」がありません。



着手 昭和二十九年十一月  
竣功 昭和三十一年 九月  
建設省中部地方建設局

